

## 1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善、及び進路指導に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

- ・夏・冬の課題テストで県との差を0～3ポイント以内にする
- ・課題テストで県との差を4～6ポイント以内にする

## 3. 指標にむけての取組

- ・授業力向上のために、一人一回の授業研の実施と指導主事を招聘した全体研修の実施
- ・「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」や「確かめシート」、「対策プリント」の有効活用
- ・家庭学習の定着を図る週末課題と自学ノートの徹底と継続的指導
- ・定期考査前後の補充学習及びフォローアップの取り組み

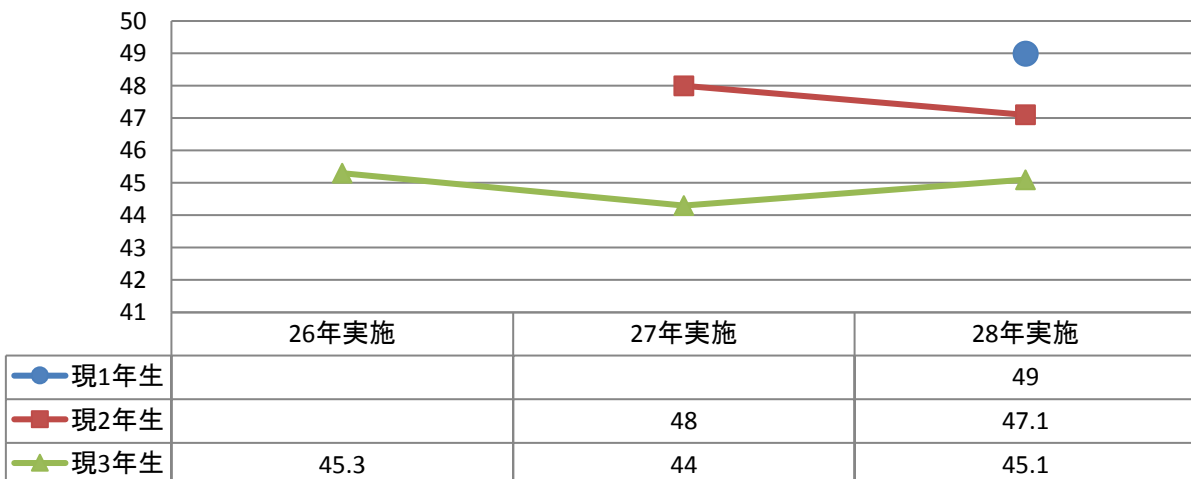
## 4. 調査結果

※学校平均5年間の推移

(標準偏差値50に対して)

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
本校(A)	46.9	47	45.7	46	47.8
嘉麻市(B)	45.6	45.6	46.6	47	47.3
(A) - (B)	1.3	1.4	-0.9	-1	0.5
標準偏差値との差 (A) - (C)	-3.1	-3	-4.3	-4	-2.2

## 各学年の推移



## 5. 各学校における分析

- ・県平均との差が徐々にではあるが、改善することができている。
- ・教科によって、県平均との差が異なっており、取り組みが進んでいる教科とあまり進んでいない教科との差が生じている。
- ・1年生入学段階では、県との差がほとんどなくなってきたか、県平均を上回る教科が出てきている。

## 6. 各学校における今後の取組

- ・各教科で形成的評価を単元ごとに実施し、学習内容の定着度を確認し、定着の出来ていない内容については、内容の定着を図るために補充学習を行ったり、宿題として繰り返し学習をさせたりする。
- ・各教科で、課題テストについての指標を明記し、その指標達成の具体的な取り組みを学力向上プランの中に取り入れる。学力向上プランを全職員で共通認識する場を持つ。学期ごとにその取り組みについて検証するPDCAサイクルを構築する。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに基づく学力向上検証改善委員会を開催し、有機的に機能させる。そのために、以下の事項について支援する。
  - ・課題把握、学力向上策、評価改善の妥当性についての研修を実施する。
  - ・校内学力向上推進委員会への指導助言を行う。
  - ・取組状況の確認及び適時性のある指導を継続する。
- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、以下の事項について支援する。
  - ・中学校教科教育研究会を年間4回開催し、授業公開及び授業改善に関する協議を行う。
  - ・個に応じた指導、特に個のつまづきの把握と速やかな対応を可能にするための指導方法の工夫改善を実施する。